

2023年3月2日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER 
driven by Mist AI

はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/march-2nd-2023-updates/>

- ❖ 本ドキュメントは2023年3月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Network Programmability

- Spectrum社のSMSによるゲストポータル認証

Marvis

- Marvis 会話型インタフェースの機能強化
- Marvis 自然言語の廃止

Wired Assurance

- 新しいロールの追加：スイッチポートオペレータ
- 3ステージ IP Closファブリック
- 変数を利用したスイッチテンプレートのIP関連の設定
- スイッチアップグレードの機能強化
- EX4650,QFX5120のVCサポート

本リリースで追加された機能一覧

WAN Assurance

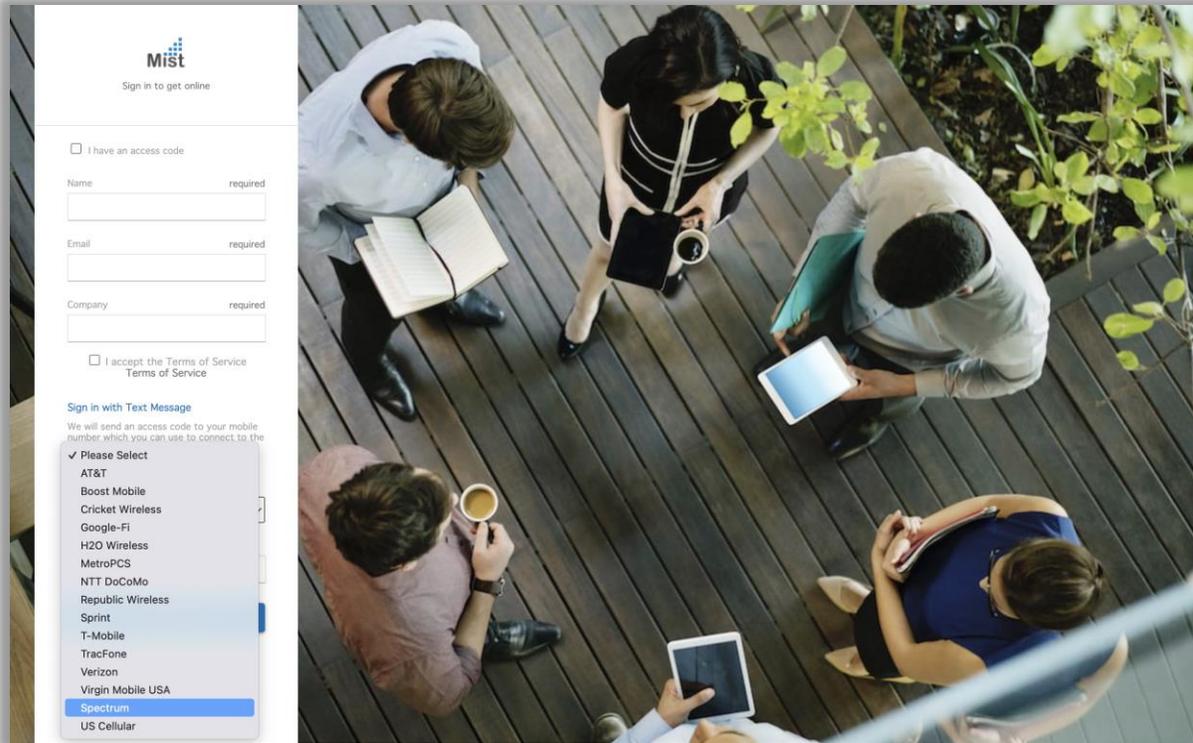
- SSRデバイスページでのDHCPサマリー表示
- SRXのトラフィックエンジニアリングポリシーの強化: SRXプラットフォームでのAPBR
- WANエッジインサイトページのBGPサマリー表示(SRXプラットフォーム)

Customer Engagement

- AssetfiltersサービスUUIDのAPIサポート
- Named Assets Service UUID のデータフロー高速化

Network Programmability

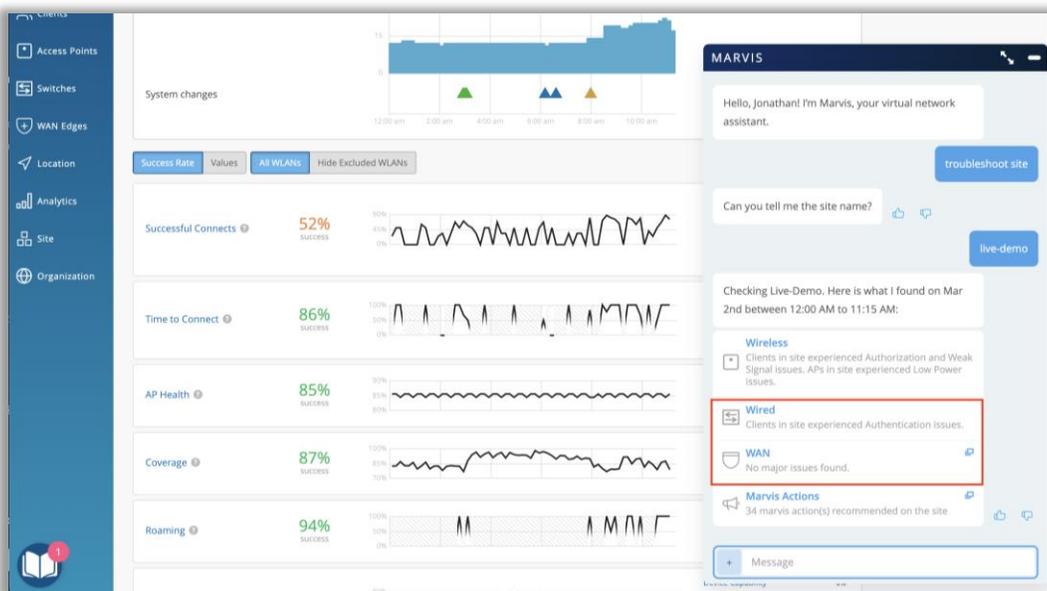
Spectrum社のSMSによるゲストポータル認証



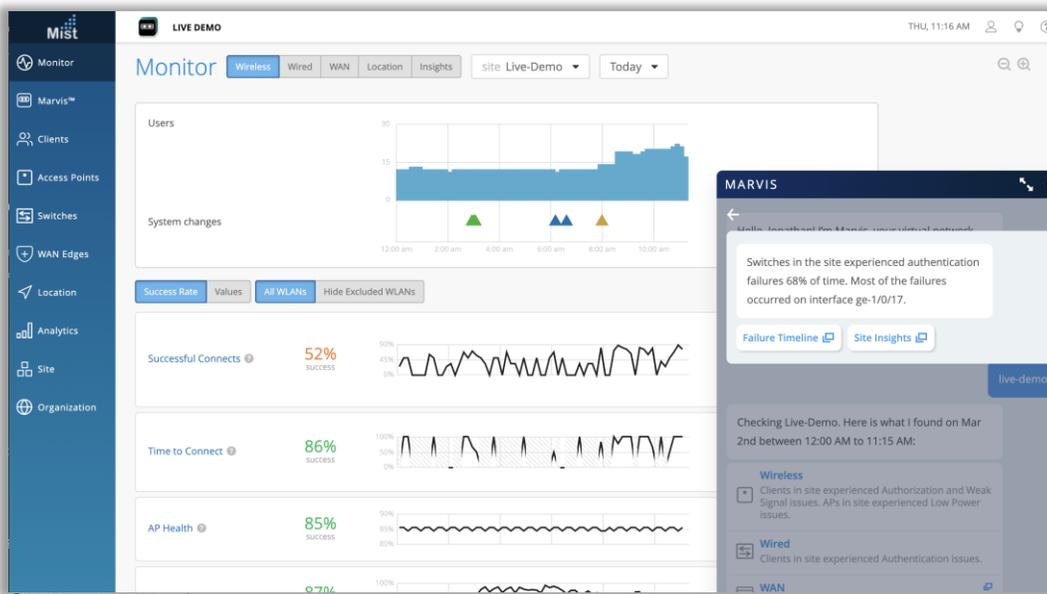
- テキストメッセージ認証を使用したゲストポータルにサインインする際のキャリアにSpectrum社が追加されました

Marvis

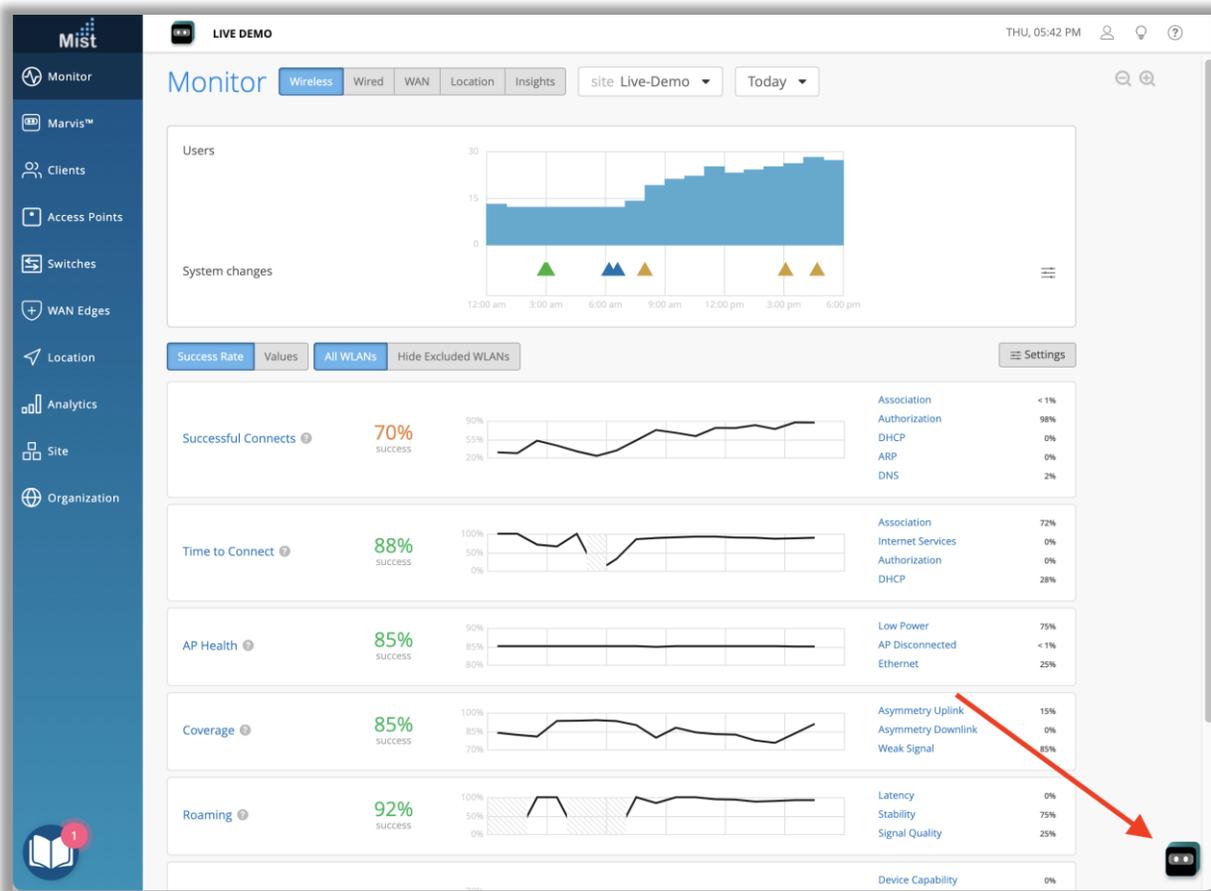
Marvis 会話型インターフェースの機能強化



- 2022年12月8日リリースの“troubleshoot site”クエリを改善し、サイト内で発生している主要な問題または繰り返し発生している問題を特定できるようにしました
- 本クエリはすべてのVNAサブスクリプションを有するユーザが利用可能です



Marvis 自然言語の廃止



- Marvis会話型インターフェースの継続的な改善に伴い、従来のMarvis仮想ネットワークアシスタントの「自然言語」オプションを廃止いたします
- 「クエリ言語」は引き続きお使いいただけます
- ダッシュボードの任意のページの右下隅のアイコンをクリックするとMarvis会話型インターフェースを起動することができます

Wired Assurance

新しいロールの追加：スイッチポートオペレータ

< Administrators : New Invitation

Email Address required
test@mist.com

First Name required
test

Last Name required
test12

Administrator Roles

- Super User
Full access to all sites, able to create new sites and manage other administrators
- Network Admin
Full access to selected sites
- Observer
Monitor only access to selected sites
- Installer
Access limited to installing APs and Switches
- Helpdesk
Helpdesk monitoring and workflow for selected sites

Limited Roles

- Switch Port Operator ⓘ
Can view and manage switch port configurations that are allowed by a Super User

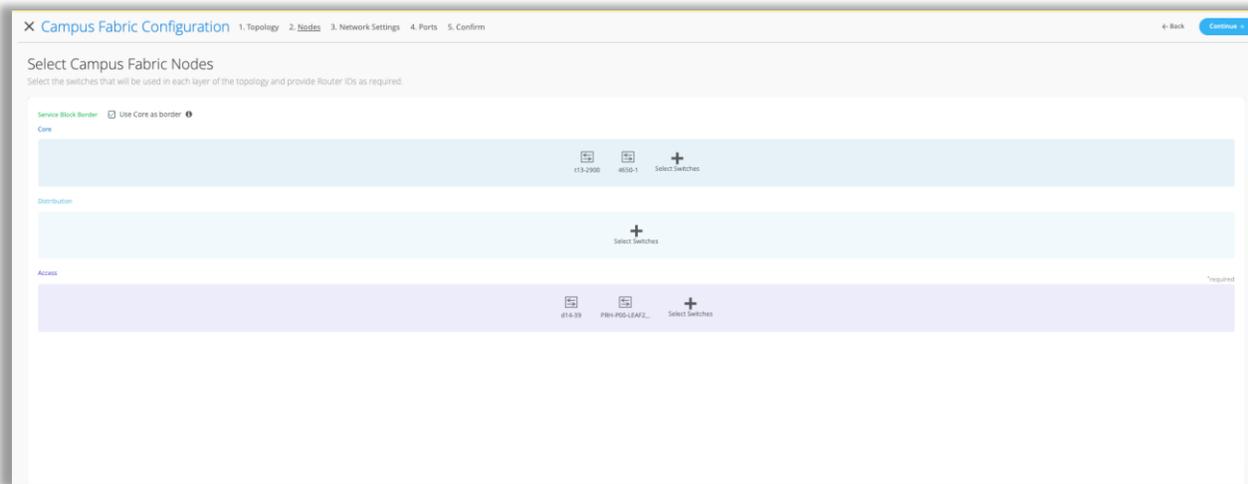
Site Access

All Sites Site Groups Specific Sites

- Switch Port Operator (SPO) ユーザロールは、スーパーユーザが許可したポートをUIで設定する機能を有します
- このロールはHelpdeskロールのすべてのプロパティも有します
- このユーザロールが単一または複数のポートを設定できるようにするには、スーパーユーザがポートの設定画面で [スイッチポートオペレーターがポートプロファイルを変更できるようにする] を [はい] に設定する必要があります
- 設定が許可されたポートにおいて、SPOは以下の2つが可能です
 1. 新しいポート設定を作成し、ポート設定モジュールによる設定を行う
 2. スイッチのフロントパネルからポートを選択し、ポートの設定を行う

3ステージ IP Closファブリック

- キャンパスファブリックは、ユーザがアクセススイッチをコアスイッチに直接接続するための3段階のIPCLOSファブリックをサポートします(ディストリビューションレイヤーはオプション)
- IP Closネットワークは、標準ベースのアプローチ (EVPN-VXLAN with GBP) を使用し十分なスケーラビリティとセグメンテーションを提供します



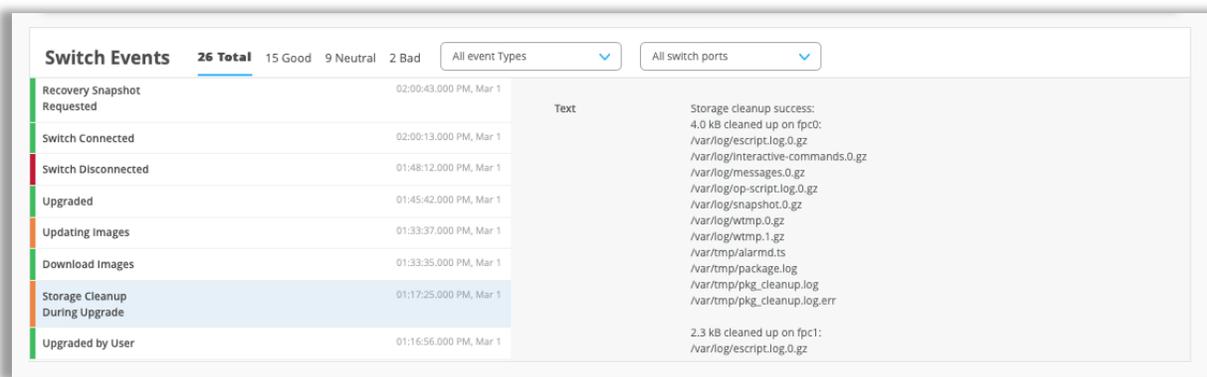
変数を利用したスイッチテンプレートのIP関連の設定

The screenshot displays the configuration interface for a switch named 'ex-2300-lab'. It shows three main configuration panels: INFO, IP CONFIGURATION, and PORT CONFIGURATION. The IP CONFIGURATION panel is further divided into 'IP CONFIGURATION (OUT OF BAND)' and 'Additional IP Configuration'. Several IP address fields are highlighted with red boxes, indicating the use of variables: 1. In the main IP CONFIGURATION section, the IP Address field is set to `{{full_ip}}`, which evaluates to `23.43.45.0`. 2. In the 'IP CONFIGURATION (OUT OF BAND)' section, the IP Address field is set to `{{lab_ip}}:{{rack2}}.26`, which evaluates to `10.216.202.26`. 3. In the 'Additional IP Configuration' section, there are two entries: one with IP Address `34.41.111.{{test4}}` (evaluating to `34.41.111.7`) and another with IP Address `123.{{test3}}.90.{{test4}}` (evaluating to `123.98.90.7`). The PORT CONFIGURATION section shows 'Port Profile Assignment' with 'variableIP' in the Name field.

- デバイス/サイト/組織テンプレートの下でIPアドレスを変数としてスイッチテンプレートで設定できるようになりました
- 変数はスイッチの設定に使用できるサイトの構成ページで定義できます
- 現在、次の入力の変数をサポートしています
 - IPアドレス(アウトバンド)
 - IPアドレス
 - 追加のIP設定
 - ポート設定 → L3 インタフェース
 - ネットワーク → サブネット

スイッチアップグレードの機能強化

- スイッチアップグレード時に詳細なプロセスを含むより多くのスイッチイベントがUIで表示されるようになりました

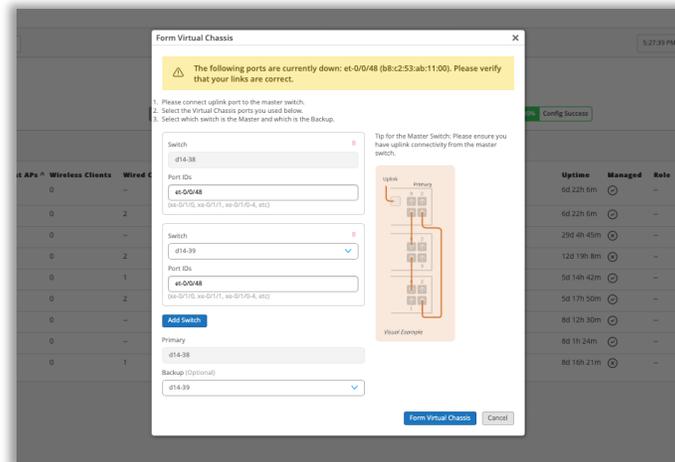


The screenshot displays the 'Switch Events' interface. At the top, it shows '26 Total' events, with a breakdown of 15 Good, 9 Neutral, and 2 Bad. There are two dropdown menus: 'All event Types' and 'All switch ports'. The main content is a table of events, with the 'Storage Cleanup During Upgrade' event selected and its details expanded in a text box.

Event Type	Time	Details
Recovery Snapshot Requested	02:00:43.000 PM, Mar 1	
Switch Connected	02:00:13.000 PM, Mar 1	
Switch Disconnected	01:48:12.000 PM, Mar 1	
Upgraded	01:45:42.000 PM, Mar 1	
Updating Images	01:33:37.000 PM, Mar 1	
Download Images	01:33:35.000 PM, Mar 1	
Storage Cleanup During Upgrade	01:17:25.000 PM, Mar 1	Text Storage cleanup success: 4.0 kB cleaned up on fpc0: /var/log/escrpt.log.0.gz /var/log/interactive-commands.0.gz /var/log/messages.0.gz /var/log/op-script.log.0.gz /var/log/snapshot.0.gz /var/log/wtmp.0.gz /var/log/wtmp.1.gz /var/tmp/alarmd.ts /var/tmp/package.log /var/tmp/pkg_cleanup.log /var/tmp/pkg_cleanup.log.err
Upgraded by User	01:16:56.000 PM, Mar 1	2.3 kB cleaned up on fpc1: /var/log/escrpt.log.0.gz

EX4650,QFX5120のVCサポート

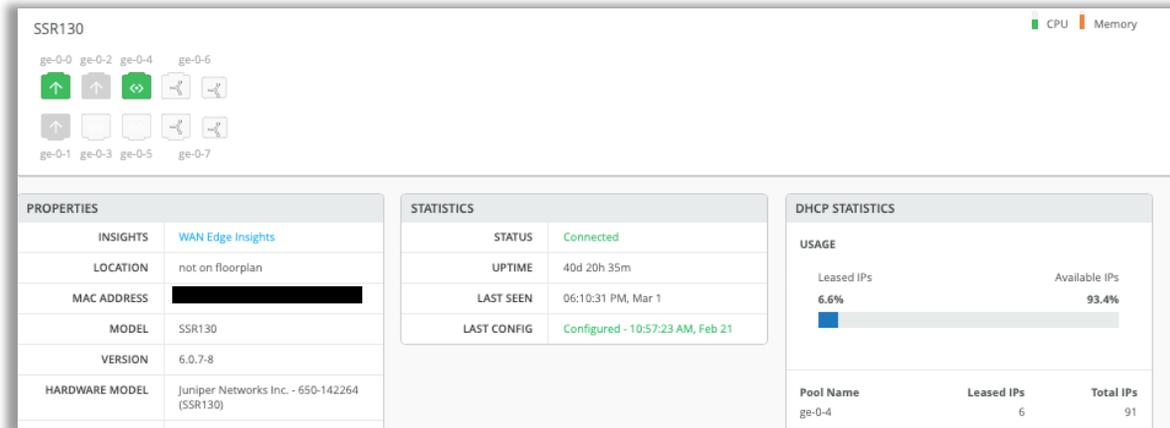
- マネージドモードでのEX4650およびQFX5120のVCの構成が可能になりました



WAN Assurance

SSRデバイスページでのDHCPサマリー表示

- SSRデバイスページで、WANエッジCPEとして使用されている場合にネットワークのDHCPプールの使用率に関する情報が表示されるようになりました



SRXのトラフィックエンジニアリングポリシーの強化: SRXプラットフォームでのAPBR

- APBRは、セッションベースのアプリケーション認識ルーティングの一種で、ポリシーベースのルーティングとアプリケーション対応のトラフィック管理ソリューションを組み合わせたものです
- APBRは、アプリケーションの属性に基づいてフローを分類し、これらの属性に基づいてフィルターを適用してトラフィックをリダイレクトすることを意味します
- フロー分類メカニズムは、使用中のアプリケーションを表すパケットに基づいています。
- APBRは、次の機能を提供します
 - アプリケーショントラフィックまたはアプリケーション内のユーザーセッションを識別するためのAppIDのディープパケットインスペクションおよびパターンマッチング機能
 - アプリケーションタイプのASCでのルックアップと、対応する宛先IP アドレス、宛先ポート、プロトコルタイプ、および一致するルールのサービス
- 一致するルールが見つかった場合、トラフィックは適切なルートと対応するインターフェイスまたはデバイスに送信されます
- Mist UIのWAN Edgeテンプレートで、管理者はさまざまな戦略オプションを使用してトラフィックステアリングからAPBRプロファイルを作成し、トラフィックステアリングオプションを必要なアプリケーションポリシーにマッピングできます

The screenshot displays the SRX Mist UI interface, divided into three main sections:

- 2 LANS:** A table showing network configurations for two LANs.
- TRAFFIC STEERING:** A section showing traffic steering configurations for two policies.
- APPLICATION POLICIES:** A section showing application policies for two policies.

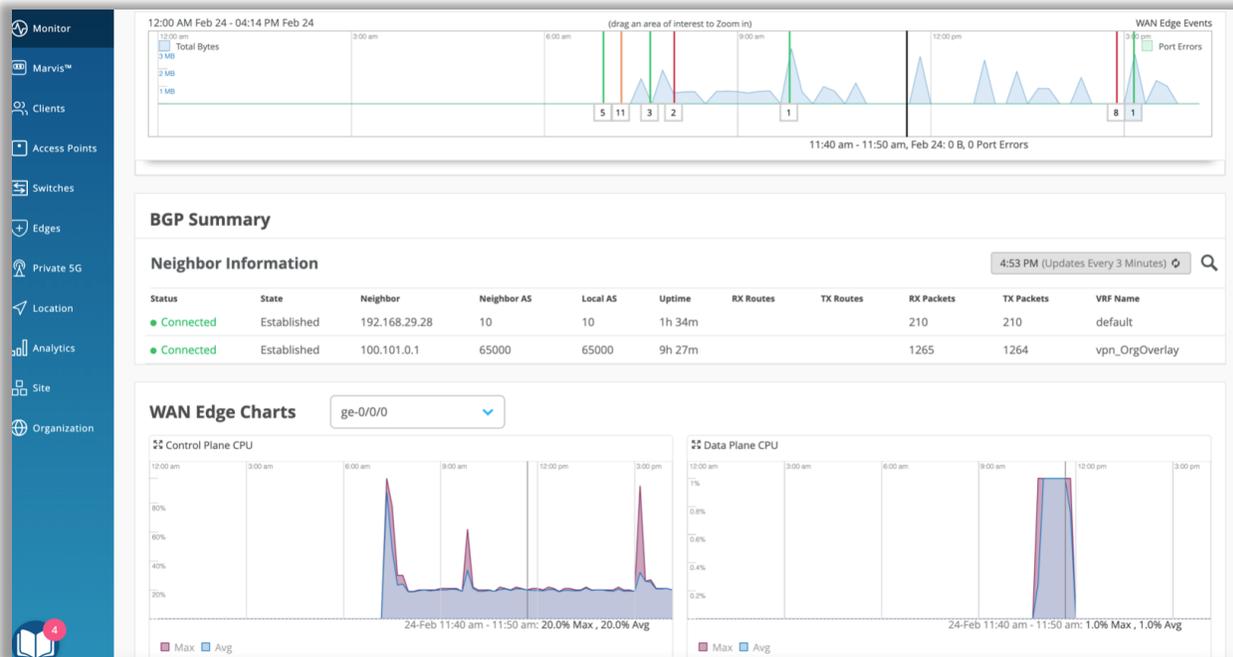
NETWORK	INTERFACE	UNTAGGED	VLAN ID	IP CONFIGURATION	DHCP
v10	ge-0/0/2	No	10	192.168.10.1/24	--
v20	ge-0/0/3	No	20	192.168.20.1/24	--

NAME	STRATEGY	PATHS
overlays	ECMP	srx340_ha-wan0, srx340_ha-wan1
wans	Ordered	wan0, wan1

NO.	NAME	NETWORK / USER (MATCHING ANY)	ACTION	APPLICATION / DESTINATION (MATCHING ANY)	IP	TRAFFIC STEERING
1	Policy-1	+ v10	→	app1 dns	None	wans
2	Policy-2	+ v10	→	app2	None	overlays

WANエッジインサイトページのBGPサマリー表示(SRXプラットフォーム)

- WAN エッジインサイトページでSRXプラットフォームでもBGPネイバーの状態と概要が表示されるようになりました



Customer Engagement

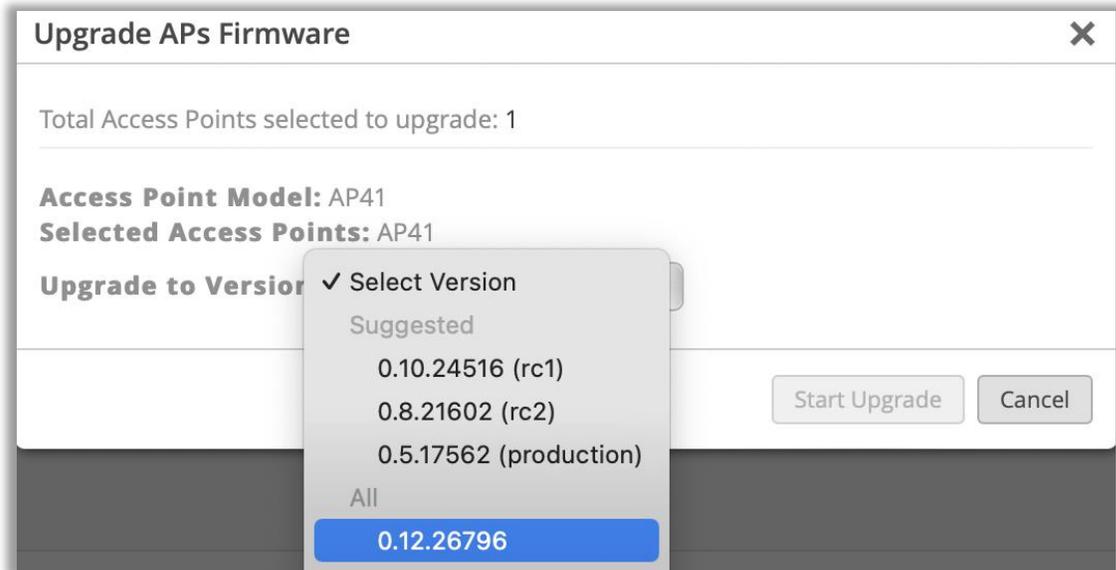
AssetfiltersサービスUUIDのAPIサポート

- API を介して組織レベルとサイトレベルの両方のサービスUUIDペイロードにAssetfilters を追加できるようになりました
- これはMist APIドキュメントのAsset Filtersセクションの下にあります。

- <https://api.mist.com/api/v1/docs/Site#asset-filters>
- <https://api.mist.com/api/v1/docs/Org#org-asset-filters>

- 注：この機能の使用例としては、Wiliot Solutionsに使用するケースがあります
- Mist API Documentation: <https://api.mist.com/api/v1/docs/Site#webhooks> の Client Raw Data Webhooks セクションにある discover-raw-rssi web-hook トピックを通じてサービスUUIDデータを渡すことができます（このweb-hookは現在APIで有効化する必要があります）

Named Assets Service UUID のデータフロー高速化



- APファームウェアバージョン0.12.26796以降では、サービスUUIDデータはasset-raw-rssiというwebhookオプションにより高速化されます
- WebhookはAPI 経由で有効にする必要があります
- これにより、BLE パケットペイロード内にサービスUUIDデータを持つ Named Assetの更新が高速になります

Thank you

JUNIPER 
driven by Mist AI